

写真家の父ちゃんが、2歳の息子にあてた
旅先からの手紙

父ちゃんから
の手紙 ④

Letter from
Dad



林太郎へ

父ちゃんちちは北海道ほくかい勇払郡ゆうはらぐんに来てい
ます。ここ数日、日の出の前に起き
て、山に登っています。雲が海のよ
うに広がる、雲海の写真を撮るため
です。運がよければ、父ちゃんが立
つ山のでっぺんに雲が広がり、まる
で雲の上を歩いているように感しら
れるそうです。でも、それも天気や
風向き次第。今日も雲ははるか遠く
に流れるだけでした。午後には東京
に帰るので、残念ながら今回の旅で、
一面に雲海が広がる雄大な景色に出
会うことはできないでしょう。

でも1つだけいいことがあります
た。山の途中に立つ堂々とした一本
の大きな古い木に出会ったのです。
雲海が出る日も、出ない日も、この木
は毎日ここで朝を迎えているんだな
と思うと、ちょっとうらやましくな
りました。

公文健太郎 (くもん けんたろう)

写真家。1981年生まれ。国内だけでなく、ネパールなど海外の被写体をテーマに作品を撮り続け、
写真集やエッセイ、写真展などで発表している。2児の父。http://www.k-kumon.net/